

360度のパノラマを楽しむ

丸山

実施日 2014年3月15日(土)  
 天候 晴れ  
 リーダー 白石 恵美子  
 S L 渋谷 京子  
 参加者 白石恵美子、石附智江、渋谷京子、中村友子、伊藤久雄、宇野輝代、佐藤政司、瀧きよの、石附恵理子 計9名  
 費用 1,360円(池袋起算)  
 タイム 芦ヶ久保駅(8:52)登山道入口(9:26~9:30)高篠鉾泉分岐(10:52~11:25)丸山山頂(11:35~12:25)大野峠(12:55)赤谷(14:10)芦ヶ久保駅(14:38)

標高差 643m 行動 5時間46分

芦ヶ久保駅を出発。国道を渡り、観光案内所と酒屋の間の斜めの道に入るとのっけから急坂。

観音様、無残に削られた山肌に雪の残る武甲山を横目で見ながら、車道を歩く。前回(11年12月)は「山の花道」という標識に従って車道の突き当りを左に行っていたが、そうすると暗い樹林帯を長く歩かなくてはならないので、そこを鋭角に右に曲がって更に車道を登る。駅から40分弱(含む筈タイム)で登山道入口に着く。

最初は雪がなかったが、間もなく雪道になる。アイゼンを着けるほどでもない。踏み跡を歩くよと降り、踏んでないところを歩く方が楽とS氏のアドバイス。降ってから大



分日にちも経っているし気温が低いため雪が締まっていて潜らない。

最初は植林帯だが、途中から雑木林になり気持ち良い。途中、視界が開けて遠くの山々が臨める。

出発から1時間強で日向山からの道と合流す、幅の広い尾根道に出る。

雪の上に鹿の足跡がしばらくついており、我々を先導してくれているようだ。



しばらくの急な

登りの後、車道を横切り、更にまた、急坂を登り切って高篠鉾泉分岐に着く。

東屋があったので、中休止。

S氏がロープとハーネスを使い、急斜面でクライミングの実演。

間もなく丸山山頂に着く。展望台に上ると、男体山、谷川岳、浅間山、武甲山、丹沢方面、赤城、上州武尊、榛名、八ヶ岳、両神山など、360度、期待通りの素晴らしい眺望。風もなくぽかぽかと暖かく、お日様の恵みを感じながら昼食。

集合写真後、「広葉樹の林、芦ヶ久保駅」と書かれた矢印の下に、小さい白い木片に「大野峠」と書かれている方角へ下山開始。右に広葉樹林、左に針葉樹林を見ながら急坂を下る。「大野峠」と書かれた標識を見落とさないよう気をつけながら。その標識のところを右に曲がる。まっすぐは白石峠(自分の名前だからと言ってもそっちはイカン)へ行ってしまうので要注意(下見の時は山頂と会った女性と喋っていて危うく見落とすところだった)。



更に少し下るとパラグライダーの離陸場があり、ここも眺めが良

いので、暫し眺望を楽しむ。斜面がまるでスキューターのよう。間もなく大野峠、「赤谷」と書かれた標識に従って右折、車道を横切る。暗い杉や檜の樹林帯の中で、目も覚めるような鮮やかな緑色の竹がまるで新緑のようで、退屈な下りにアクセントを添えてくれる。



急な下りを踏み跡を除けながら下る。沢を2回渡る。左に大きな岩があり、傾斜が緩くなる。間もなく人家が見え、車道に出る。そこから約30分で芦ヶ久保駅に到着。

丸山は何度も行っているが、雪の丸山はどこか山かと思ふ、まるで別山でした。今日は雪と大パノラマを満喫できた山行でした。

参加された皆さん、お疲れ様でした。また山で会いましょう。

(記・白石 恵美子)

(写真提供・伊藤久雄)